

かわら

版

交通安全に関する
情報発信

平成29年6月20日 NO.54
江南警察署
江南市
岩倉市
大口町
江南自動車学校

梅雨期の安全運転ポイント

梅雨は交通事故が多発する季節！ドライバーなら知っておきたい梅雨期の安全運転対策

雨天時の走行にはさまざまな危険が伴います。特に豪雨時は視界が極端に悪化するうえに、道路冠水などの特有の危険が生じます。そこで、豪雨時の運転上の注意点や雨天時における安全走行の基本についてまとめてみました。

豪雨時の運転上の注意点

道路冠水の危険がある場所の走行は避ける

豪雨時は、立体交差点や高架下などのアンダーパスやすり鉢状にくぼんでいる道路などは、冠水の危険が大きくなります。このような場所を走行するのは避けましょう。

短時間強雨のおそれがあるときは運転は控える

1時間に50ミリ以上の降雨量となる、いわゆる「短時間強雨」のときは「車の運転は危険」とされています。天気予報などで気象情報をチェックし、短時間強雨のおそれがあるときは、不要不急の運転はできるだけ控えるようにしましょう。

雨が激しくなったら運転を中断する

ワイパーを最速にしてもフロントガラスの雨滴が拭き切れないほど雨が激しくなってきたときは、運転を一時中断して安全な場所に車を止め、雨がおさまるのを待ちましょう。



雨天時の安全走行の基本

雨の降り始めは傘のない歩行者や自転車に注意する

雨の降り始めは、歩行者や自転車が予想外の行動をとるということを頭に入れて、歩行者や自転車の動きにもよく目を配りましょう。

カーブでは手前で早めにスピードを落とす

雨で視界が悪いため、カーブのきつさがわかりにくく、急ブレーキや急ハンドルの危険が高まります。晴天時以上に慎重に、カーブの手前で十分スピードを落とし、カーブ走行中のブレーキ操作はできるだけ控え、ハンドル操作も最小限にして走行しましょう。

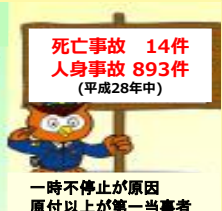
追越しはせず進路変更もできるだけ控える

急ハンドルや急加速を伴いやすい追越しは、路面の滑りやすい雨天時にはスリップを招くおそれがあり、非常に危険ですから避けましょう。

止まるべきところは必ず止まろう

Stop Slow Smart
3つのSで交通事故抑止！

一時不停止

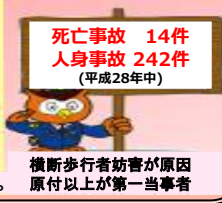
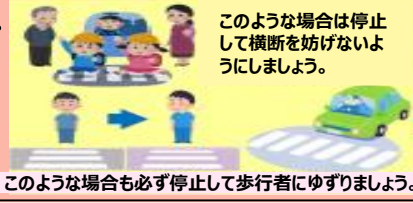


一時停止場所は必ず停止して安全確認を！！

★「止まるべきところで止まる」
この当たり前のことをしなかったばかりに、交通事故が発生しています。特に左記の違反による悲惨な交通事故が多発していますので、交通ルールを遵守した運転を励行して、交通事故の根絶に努めましょう。また、歩行者の方も安全確認を励行して交通事故に遭わないようにして下さい。



横断歩行者妨害



このような場合も必ず停止して歩行者にゆずりましょう。

目指そう・事故ゼロ

～安全で快適な交通社会をめざしましょう～

江南市
岩倉市
大口町

平成29年交通安全年間スローガン「抱っこより深い愛情チャイルドシート」皆さんの心がけて交通事故ゼロは実現できます。